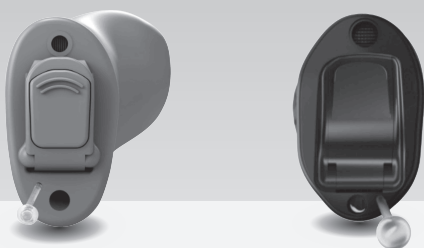




Insio IX CIC

Insio IX IIC 取扱説明書



医療機器のクラス：管理医療機器

一般的名称：耳あな型補聴器

販売名：補聴器 IXシリーズ カスタム

形 式：Insio IX

このたびは Insio IX をお買い求め頂き、
まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお
読みいただき、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に
大切に保管してください。

ご使用前に

補聴器の使用、性能についての注意事項

補聴器は聴力低下を補う医療機器です。他の目的には使用しないでください。

補聴器は聞こえに合わせた調整をおこなう必要があります。必ずご自分にあった聞こえに調整してください。調整には専門の知識を必要としますので、補聴器の調整はお買い求めの販売店にご依頼ください。なお、この補聴器は、補聴器販売店の店頭における購入および当該販売店（または当該販売店の正式な委託を受けて補聴器の調整をおこなう者）による使用前の適切な調整を前提に製造・出荷されております。従って、通信販売などで本品を購入され、かつ適切な調整をおこなわずに本品を使用したことに起因してお客様に生じたいかなる事故もしくは被害も、当社は賠償・保証いたしかねますので、ご了承ください。

補聴器は小さすぎる声、遠くの声、周囲の雑音が大きいときなどは十分に聞き取る効果が発揮できないことがあります。

補聴器を使用しても聞こえが悪くなる前と同じ聞こえに戻るものではありません。また、聞こえには個人差があります。

耳鼻咽喉科医師の受診を勧められたときは、ぜひ受診しましょう。

聴力に変化があったり、使用する環境が変わったりすると、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は聴力測定を受けることをお勧めします。

サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。

※この取扱説明書の内容は2024年5月のものです。製品の仕様、付属品、外観などは予告なく変更される場合があります。

※本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。

目次

■ ご使用前に	2
■ 安全上のご注意（必ずお守りください）	4
■ 付属品の確認	10
■ 各部の名称	12
■ 電池の取扱い	14
■ 装用の仕方	16
■ 操作の仕方	17
■ アクセサリとアプリ	24
■ 補聴器に慣れるためのアドバイス	26
■ 故障かなと思われたときは	27
■ お手入れの仕方	28
■ 補聴器の設定	32
■ 技術資料	34
■ アフターサービスについて	35

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。



この表示がある項目は、「人が死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

より快適なご使用のための方法を説明しています。



よりよく補聴器を使用するためのアドバイスとヒントです。



形式やオプションによって異なる機能を示します。お求めの販売店に、該当する機能にチェックを付けるようにご依頼ください。

警告

補聴器や空気電池は飲み込むと窒息の危険を伴います。

- 小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- 小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って補聴器などを飲み込まないよう、周囲の人が常に注意してください。

**誤って空気電池を飲み込んでしまった場合は、慌てず
すぐ医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。**

- 空気電池が消化管に接触し電流が流れると、短時間でも消化管の壁に損傷が起こる恐れがあります。電流が流れ続けると潰瘍ができたり、穴が開いたりする恐れがあります。
- 胃内で空気電池が留まると空気電池の金属皮膜が腐食し、電解液が流出して消化管の壁を損傷する恐れがあります。

**空気電池から漏れた電解液が目に入った場合、失明など
障害の恐れがあります。こすらずに水道水などのきれいな
水で十分に洗った後、すぐに医師、救急医療センターなど
の診察を受けてください。**

禁止

**補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされてい
ますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴
器を聞いたりしないでください。正しく調整されていない
補聴器は効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。**

禁止

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳を治療中のとき。
- 耳の手術を受けたとき。
- 耳の中に痛み、またはかゆみがあるとき。
- 最近3ヶ月以内に耳漏が生じたとき。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下したとき。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなったとき。
- 耳垢、または異物の集積が明らかなき。

病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器を外すかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、補聴器を外してください。
- MRI検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



補聴器による聴力低下を防ぐため次のことをお守りください。

- 大きすぎる音を出さないでください。
- 喧しいところでは音量を控えめにするか、長時間使用しないようにしてください。

補聴器は防水ではありません。水などに故意に濡らさないでください。

補聴器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしたりしないでください。

注意

下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。

- 耳漏が生じたとき。
- 耳の治療が必要になったとき。
- 耳鳴りが生じたとき。
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
- 耳の皮膚が赤くなったり、痛み、かゆみ、湿疹が生じたりしたとき。
- 使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
- 補聴器の外観、音質、音量等に異常を感じたとき。

空気電池は使い方を誤ると液漏れや発熱、破裂により、けがや補聴器の故障の原因になります。次のことをお守りください。

- 充電しない。
- 分解したり、ショートさせたりしない。
- 加熱したり、火中に投入したりしない。
- 水などに濡らさない。
- 投げつけたり、強い衝撃を与えたりしない。
- 極性（+と-の向き）を間違えない。

空気電池から漏れた電解液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚に障害を起こす恐れがあります。すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、補聴器を使用しないでください。

注意

取扱いはていねいに

- 補聴器は精密機械です。落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 汗、皮脂、耳垢などが補聴器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないように注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 化粧水、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取外してください。
- シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
- 補聴器を電子レンジの中に入れてください。

補聴器は高温や湿気をきらいます。

- 直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
- お風呂やシャワーに入るときは補聴器を必ず外してください。
- 台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
- 雨に濡らさないでください。

もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったりしたら……

- 水中に落としたときは、空気電池を出してよく水を切り、陰干して修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 洗濯機に入れたり、海水や汚水に落としたりしたときは、空気電池を出して真水で洗った後、よく水を切り陰干して修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、空気電池を出して、補聴器を乾燥ケースで乾燥させてください。

注意

電磁波が発生するところについて

- ラジオ・テレビの放送局、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ・IHクッキングヒーター、超音波洗浄機・超音波センサーなどを使用しているところでは、放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。補聴器の故障ではありません。補聴器をとりはずすか、その場所から離れてください。

携帯電話について

- 携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては補聴器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

補聴器や電池がご不要になった場合

- ご不要になった補聴器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。
- 使用済みの電池は、自治体指定の方法で処分するか、お近くのボタン電池回収協力店へお持ちください。

補聴器を使用しないときは、空気電池を補聴器から出して保管してください

- 空気電池を補聴器に入れたままにすると、空気電池が液漏れや膨張をおこして故障の原因になることがあります。
- 万一電池が破損し、電解液に触れたときはすぐに洗ってください。

付属品の確認

ご使用になる前に、付属品がすべて揃っていることを に を入れて確認してください。

お試し空気電池【1個】※



マグネット付き
掃除ブラシ【1本】



取扱説明書（本書）【1部】



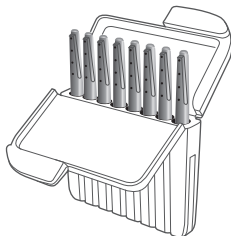
保証書【1部】※



補聴器早わかりガイド【1部】



交換用耳垢
プロテクト【1個】



化粧ケース【1個】※



ご注文時の形式により
形状が異なります。

乾燥ケース【1個】



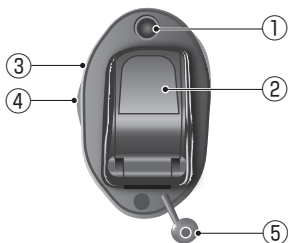
※両耳でのご注文の場合は2つ付属されます。

付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

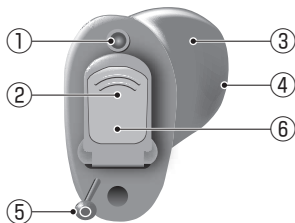
各部の名称

お求めの補聴器の に チェックを入れてください。

Insio IX IIC



Insio IX CIC



- ① 音の入口
- ② 電池室 (14ページ参照)
- ③ シェル
- ④ 音の出口
- ⑤ 取出し用テグス
- ⑥ プッシュボタン (13、18、19、21、22ページ参照)

(⑥はオプション仕様のため、ない場合があります。
また、③シェルは耳の形により形状が異なります。)

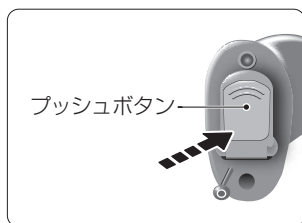
プッシュボタンの動作 (CICのみ)

プッシュボタンを使用するとプログラムの切り替えや音量の調節などを行うことができます。

プッシュボタンは選択した機能によって操作が異なります。

補聴器に搭載されている調整器、選択した機能を下記の表に記入してください。

(にチェックを 入れてください)



機能	左補聴器			右補聴器		
プログラムの選択 アップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
プログラムの選択 ダウン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
音量の調節 アップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
音量の調節 ダウン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
スリープモード			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>

プッシュボタンの操作方法



プッシュボタンを押してください。



プッシュボタンを2秒間押してください。



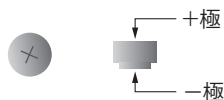
プッシュボタンを4秒間押してください。

電池の取扱い

電池は、補聴器用空気電池PR536をご使用ください

※補聴器用空気電池は、乾電池と＋－が逆で、出っ張りが－、平らが＋です。

PR536/10A



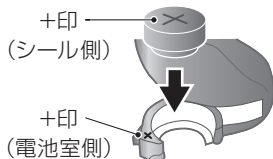
空気電池が小さくて掴みづらい場合は、付属のマグネット付き掃除ブラシに付けて持ち上げてください。

マグネット付き掃除ブラシ



空気電池の入れ方

- ① 電池室を開きます。
- ② 電池室と空気電池の“+”表示が一致するように開いた電池室に空気電池を入れます。
(空気電池を斜めにするとうれやすくなります。)



注意

空気電池を逆向きに入れしないでください。

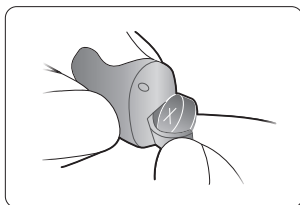
空気電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとしないで空気電池の“+” “-”の向きとサイズを確認してください。

空気電池を無理に入れてしまうと電池室が開かなくなったり、空気電池が液漏れや膨張をおこしたりして、故障の原因になることがあります。

また、シェルや電池室の破損の原因にもなります。

空気電池の取出し方

- ① 電池室を開きます。
- ② 空気電池を取出します。
(空気電池を斜めにすると取出しやすくなります。)



空気電池について

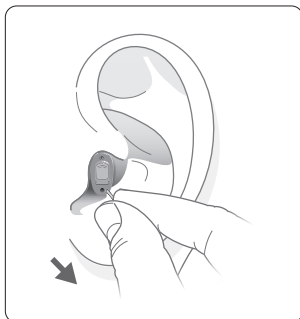
- 補聴器用の空気電池をご使用ください。
- 空気電池は、電池シールをはがしてから約1分後に使用可能になります。
- 空気電池は、使用するときには電池シールをはがしてください。一度、電池シールをはがすと、使用していなくても電池寿命は短くなります。
- 常に予備の空気電池を携帯しましょう。
- 空気電池を携帯・保管する際は、小銭やクリップなどの金属製のものに触れないようにしてください。
- 空気電池の寿命は、補聴器の設定や使用する電池の種類、周囲の環境(低温・乾燥・多湿・二酸化炭素量)によって変わります。
- 特に冬場は、電池が苦手な空気の乾燥、ストーブなどによる二酸化炭素の増加、気温の低下が重なり、電池性能(電池寿命)が大幅に低下する場合があります。
- 冬場など空気電池が冷えてしまった場合は、人肌で温めてからご使用ください。
- 空気電池は乾燥ケースの中に入れてください。補聴器を乾燥ケースに入れるときは、空気電池を補聴器から取出してください。
- 使用前の空気電池は、常温で保管してください。直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での保管はおやめください。高温多湿な環境での保管は漏液の原因になります。

装用の仕方

補聴器を耳に入れます

耳に入れる前に補聴器の上下を確認します。取出し用テグスがついている方が下側です。

補聴器の上下が変わらないようにして、耳にまっすぐ入れます。



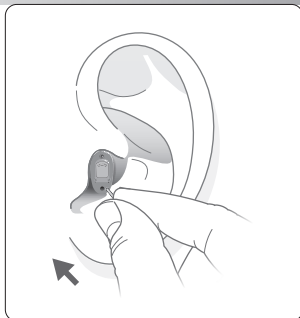
⚠ 注意

無理に強く押し込むことはしないでください。

上手に装着できないときはお買い求めの販売店にご相談ください。

補聴器を耳に入れます

補聴器の取出し用テグスを引っ張り、取出します。



⚠ 注意

補聴器を取出す際に、電池室を引っ張らないでください、補聴器の破損や動作不良を起こす危険があります。

操作の仕方

電源の入れ方と切り方

(選択されました機能の に チェックを入れてください)



補聴器の電源が入るとメロディが流れてお知らせします。

電池室を使って

電源を入れる

空気電池を入れて電池室を完全に閉じます。

電源を切る(オフ)

電池室を十分に開きます。

- 電池室を開閉するときは、開けた後3秒以上経ってから閉めてください。



注意

電源を切った際は、電池室から電池を取出すことをお奨めします。
電池室が十分に開いていないと、補聴器の電源が切れず電池を消耗します。

音量の調節

(選択されました機能の□に☑チェックを入れてください)

この補聴器の音量はお客様の聴力に適した音量に自動的に調節されます。
手動で補聴器の音量を調節することもできます。

- 音量の変化幅を変更したり、音量の変化を無効にしたり
できません。
 - 音量を調節したとき、お知らせ音でお知らせすることが
できます。
- いずれの場合もお買い求めの販売店にご依頼ください。

自動調節

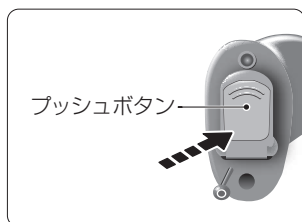
補聴器の音量は自動的に調節されます。

⚠ 注意

音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。
お求めの販売店にご依頼ください。

プッシュボタンを使って (CICのみ)

プッシュボタンを押すと、プッシュボ
タンに設定した音量の調節ができま
す。最も聞こえやすい音量に調節して
ください。



⚠ 注意

音量を調節しても音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再
調整が必要です。お求めの販売店にご依頼ください。

リモコン (別売) を使って

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

プログラム（聞こえ）の選択

（選択されました機能の□に☑チェックを入れてください）

補聴器には、聞こえの設定を最大6つ保存することができ、聞こえの状況や周囲の環境に合わせて設定を変更することができます。

補聴器の電源を入れると、常にプログラム1が呼び出されます。

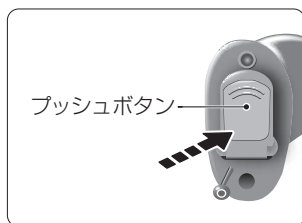


- プログラムの設定は、ご要望に合わせて調整できます。
- 【プログラムの選択】機能を無効にすることもできます。いずれの場合もお買い求めの販売店にご依頼ください。

プッシュボタンを使って（CICのみ）

プッシュボタンを押すと設定されたプログラムが順番

（1→2→3→……→1）に切り替わります。



リモコン（別売）を使って

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

サウンドバランスの調節

(選択されました機能の に チェックを入れてください)

補聴器の簡易的な音質を調節することができます。

スマートフォンアプリを使って _____

弊社のスマートフォンアプリで補聴器のサウンドバランスを操作できます。



● サウンドバランスの変化幅を変更することができます。

【サウンドバランスの調節】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

e2eワイヤレス通信 (ワイヤレス仕様のみ)

ワイヤレス対応補聴器を両耳に装着して、一方の補聴器を操作 (音量の調節、音質の調節) すると、もう一方の補聴器も同じように調節されます。



● e2eワイヤレス通信の機能を無効にすることもできます。

【e2eワイヤレス通信】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。



注意

e2eワイヤレス通信の機能は、電子レンジ・IHクッキングヒーター・パソコン・プラズマテレビ・高圧線・蛍光灯などからの電磁波の影響を受ける場合があります。その場合は、電磁波の発生源から離れてください。

ツインフォン (ワイヤレス仕様のみ)

同じタイプ、同じクラスのInsio IXを両耳に装着しているとき、電話の音声を両耳で聞くことができます。



ツインフォンの機能、専用のプログラム設定については、お求めの販売店にご相談ください。

プッシュボタンを使って (CICのみ)

ツインフォンの設定をしているプログラムに切替えます。

上手な受話器の持ち方

受話器の向きは、受話器を耳の真横から、補聴器にかぶせるように持ちます。



受話器を真横から当てます。



受話器を前から当てたり、後ろから当てるとツインフォンのプログラムに切替わりません。



注意

ツインフォンは、受話器を当てる補聴器を設定する必要があります。設定と逆の補聴器に受話器を当ててもツインフォンは機能いたしません。

スリープモード

プッシュボタン、別売のリモコンを利用して補聴器をスリープモード（無音）にできます。

スリープモードを解除すると、スリープモードになる前の音量とプログラム設定に戻ります。



スリープモードは、補聴器を待機状態にするため、待機電力を消費します。そのため、スリープモードのまま補聴器を長期間 保管すると空気電池が液漏れや膨張をおこすことがあります。
スリープモードで補聴器を長期間の保管をしないでください。

プッシュボタンを使って (CICのみ)

プッシュボタンを長押しするとスリープモードになります。



- プッシュボタンの機能を【スリープモード】として選択する必要があります。
- スリープモードが設定・解除されるとお知らせ音でお知らせします。（電源が入る際のメロディとは異なります）。スリープモードについてはリモコンの取扱説明書を参照してください。

リモコン (別売) を使って

リモコンの取扱説明書をご覧ください。



スリープモードにした後、リモコンが手元に無く、スリープモードを解除することができない場合は、補聴器の電源をお切りください。

電源の遅延動作

補聴器の電源を入れてから時間（6秒、12秒、18秒）をおいて、音を出すことができます。

この機能を使用すればハウリング（ピーピー音）を心配することなく補聴器を耳に装着することができます。



- 電源ONのお知らせ音は、補聴器の電源を入れたときにメロディが流れ、設定時間を経過してから周囲の音が聞こえます。
- 電源の遅延動作の設定は無効にすることもできます。遅延動作の設定は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

空気電池が消耗したとき

- 空気電池が消耗すると音が段階的に小さくなります。このときは新しい空気電池に交換してください。
- 補聴器から音が聞こえなくなった後、一旦電池室を開けて閉めると、再び聞こえることがありますが、長くはご使用になれません。
- 古い空気電池を入れたままにすると、空気電池の液漏れや膨張をおこすことがありますので、必ず取出してください。



空気電池が消耗したときにお知らせ音でお知らせすることができます。
お求めの販売店にご依頼ください。



注意

補聴器の調整によっては、お知らせ音が十分に聞こえない場合があります。

アクセサリとアプリ

リモコン (別売)

miniPocket

補聴器のプログラムの選択、音量の調節を手元でおこなうことができます。

詳しい情報と操作方法は、お求めの販売店に相談するか、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



miniPocket



他の人のリモコンで補聴器の設定が変わってしまう場合は、お求めの販売店にご相談ください。

スマートフォンアプリ

スマートフォンアプリ

スマートフォンに専用のアプリをインストールすることにより、補聴器のプログラムの選択、音量の調節などを手元で行うことができます。

スマートフォンとスマートフォンアプリの対応状況

(2024年5月現在)



使用できる端末・OSには制限があり、アプリのバージョンにより変化します。アプリストアでお確かめください。

iPhone、iPad、iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
Android は Google LLC の商標です。

補聴器に慣れるためのアドバイス

補聴器に慣れる必要があります。
いろいろな場所で聞いてみましょう。

- 静かな部屋を使用して、補聴器をつけることと音に慣れてください。声を出して新聞や本などを読んで、自分の声に違和感がなくなるまで、自分の声を聴く練習をします。



- 静かな部屋で1人の身近な人と話をする練習をします。



- 4~5人の人たちの会話を聞き、どの人が話しているのか聞き分ける練習をします。



- 単に聞くだけではなく“聞こう”とする意欲が大切です。



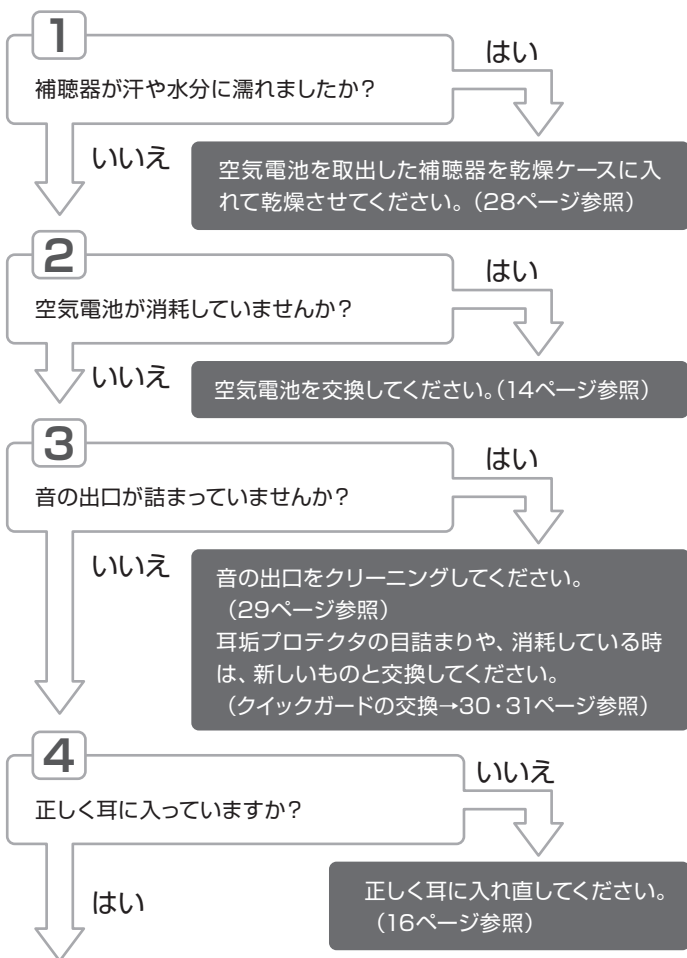
- 戸外で、いろいろな音を聞いて、何の音が聞こえるか練習します。



補聴器は初回の調整だけでは完成しません。
気になる点があれば、お求めの販売店に相談しましょう。

故障かなと思われたときは

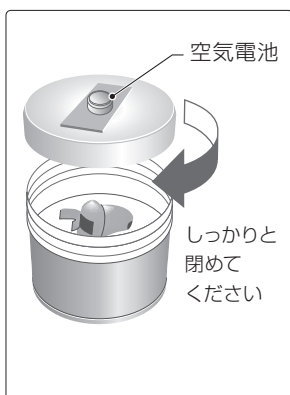
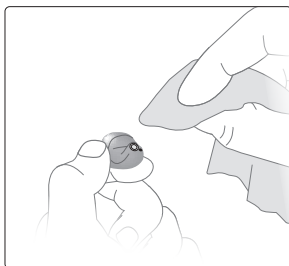
補聴器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。



お求めの販売店に修理をご依頼ください。

お手入れの仕方

- 補聴器は常に清潔にしておいてください。
 - 補聴器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。
 - 補聴器のご使用後は、補聴器を乾いた布で拭いたあと、空気電池を出して電池室を開けたまま乾燥ケースの中で乾燥させてください。空気電池も汗を拭き取ってください。（特に梅雨、夏場は水分や汗が補聴器の中に入りやすくなります。）補聴器を乾燥ケースの中に入れてから、蓋をしっかりと閉めてください。蓋が閉まっていないと乾燥効果を十分に得られません。
- ※空気電池は乾燥ケースの中に、決して入れないでください。



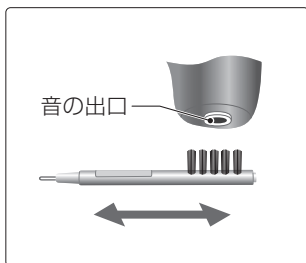
乾燥剤の色が白く変わっている場合、乾燥効果を十分に得られません。



その場合、新しい詰め替え用に交換してください。

湿気の状態にもよりますが乾燥剤は3ヶ月を目安に交換してください。（梅雨、夏季は1ヶ月が目安です。）

- 音の出口が詰まったときは、耳垢プロテクタを新しいものと交換してください。
(30～31ページ参照)



- 音の入口、音の出口の掃除方法は、付属の掃除ブラシで音の出入口ついた汚れを落とします。耳垢が中に入り込まないように掃除ブラシを上向き、音の出入口を下向きに掃除します。

⚠ 注意

故障の原因になりますので、音の出口には、ピンなどを差し込まないでください。

- 毎日のご使用後汚れをクリーニングするようお勧めします。耳垢プロテクタに耳垢が詰まったり、外れてしまったら、再使用せず新しいプロテクタを取付けてください。

耳垢プロテクタ「クイックガード」の交換方法

(仕様によりクイックガードを使用していない場合もあります。)

1) 古いクイックガードの取外し方

① ケースより黒い交換ツールを取出します。(図A)

クイックガード 交換ツール



クイックガード取外し側
※突起が付いています。

クイックガード取付け側
※新しいクイックガード(白色)が
装着されています。

図 A

② 交換ツールが突き当たるまで差し込みます。(図B)

③ 交換ツールをまっすぐ引き抜き、古いクイックガードを補聴器から取外し廃棄してください。(図C)

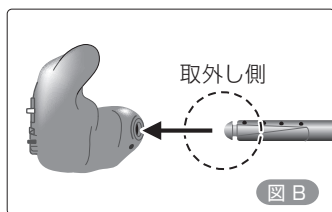


図 B

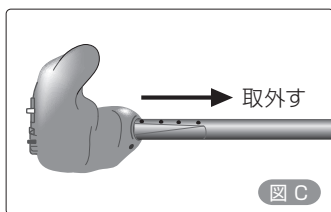


図 C

⚠ 注意

クイックガードは消耗品です。

取外したクイックガードは再使用できません。必ず新しいクイックガードをご使用ください。

2) 古いクイックガードの取外し方

- ①交換ツールに装着してあります、新しいクイックガードを元のところに補聴器の面と同じ高さになるまではめ込みます。(図D)



- ②交換ツールを引き抜きます。クイックガードは補聴器に取付けられたままになります。

⚠ 注意

クイックガードのはめ込みが十分でないと使用中にはずれてしまう恐れがあります。十分に入っているか必ず確認してください。(図D) 万一、耳の中でクイックガードが脱落し、耳の中に残ってしまった場合は、耳鼻咽喉科医師に相談してください。



交換用のクイックガード(8個入り)は別売しております。販売店でお求めください。

補聴器の設定

お求めの販売店で、補聴器の仕様や補聴器に設定されているプログラムを下記の表に記入してもらってください。

(選択されました仕様や設定の□に☑チェックを入れてください)
電池や耳垢プロテクタのご購入の際や環境プログラムをどのようなときに選択すればよいのかを判断するのにご利用ください。

補聴器	
クラス	<input type="checkbox"/> 7IX <input type="checkbox"/> 5IX <input type="checkbox"/> 3IX
シェルタイプ	<input type="checkbox"/> CIC <input type="checkbox"/> IIC
電源の遅延機能	<input type="checkbox"/> 18秒 <input type="checkbox"/> 12秒 <input type="checkbox"/> 6秒 <input type="checkbox"/> 無効
電池消費時の お知らせ音の間隔※1	<input type="checkbox"/> 1分 (15分) <input type="checkbox"/> 3分 (20分)
	<input type="checkbox"/> 5分 (25分) <input type="checkbox"/> 7分 (30分)
お知らせ音	
音の種類	<input type="checkbox"/> メロディ <input type="checkbox"/> 信号音
環境プログラムの 切換え	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
音量調節の操作※2	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
音量調節の限界※3	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
音量調節の開始位置	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
電池容量の警告	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効

環境プログラム (聞こえの) 設定

プログラム番号	プログラム内容・使用環境
1	
2	
3	
4	
5	
6	

これら設定の変更は、お求めの販売店にご相談ください。

リモコン

型式



miniPocket

- ※1 () は最初に鳴り始めるお知らせ音の間隔です。
- ※2 お知らせ音をメロディに設定していると音量が上がる際は高い音、音量が下がる際は低い音になります。
- ※3 音量が最大、または最小まで調整されたことをお知らせ音でお知らせします。

技術資料

動作、保管と輸送について

補聴器をご使用する際は下記の条件を確認してください。

	動作中
温度	0~50℃
相対湿度	5~93%
大気圧	700~1060hPa

長期間の保管や輸送する際は下記の環境を保ってください。

保管する際は、補聴器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

	保管	輸送
温度	10~40℃	-20~60℃
相対湿度	10~80%	5~90%
大気圧	700~1060hPa	700~1060hPa

アフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）

保証書には必ず「販売店名、お買上日」などの記入をお確かめになり、大切に保管してください。

保証期間中、修理依頼される時

恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有償修理になります。

補聴器本体の保証期間は保証書をご確認ください。

シェル再作の保証期間は12ヶ月です。

補聴器本体とシェル再作の保証期間は異なります。

保証期間経過後の修理について

お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有償で修理いたします。

部品の保有期間

この補聴器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。（部品の供給状況により、短くなる場合がございます。）

その他のお問い合わせは……

アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店までお問合せください。

製造販売業者：シバントス株式会社

住 所：〒242-0007 神奈川県大和市中心林間 7-10-1
三機大和ビル 6F

TEL 0800-888-0303 FAX 0800-888-4133

※フリーコールにつながらない場合は、下記番号までお問合せください。

TEL 046-289-0303 FAX 046-407-1133

Document No. 05652-99T01-5Z00 JP-JPN ; D00319667

Order/Item No. 210 394 73 ; 05.2024

Master Rev01, 11.2023

© 05.2024, WSAUD A/S. All rights reserved



* 2 1 0 3 9 4 7 3 *

キ -21039473 / 2024.5